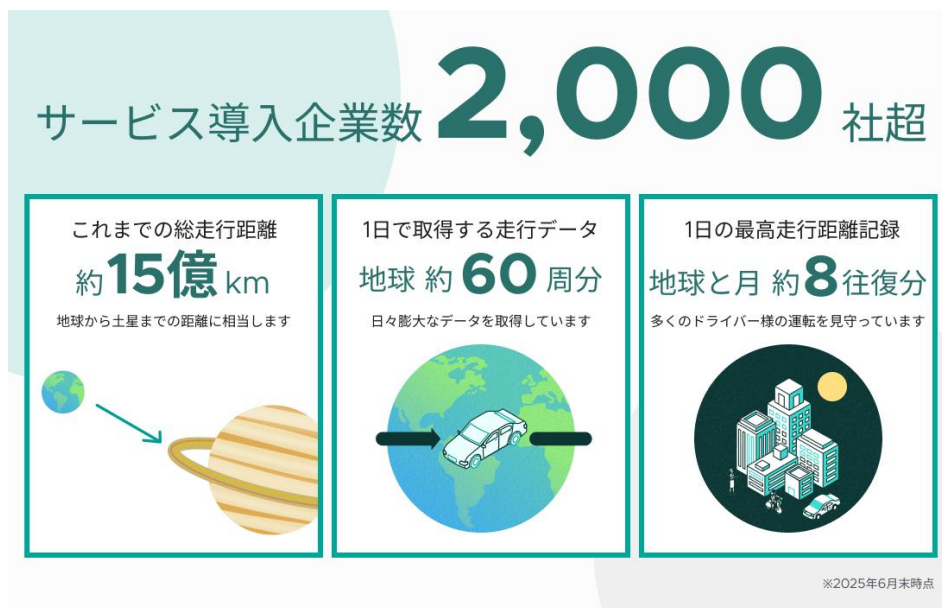


サービス導入企業数が 2,000 社を突破

モビリティデータを活用したサービスを提供する株式会社スマートドライブ（本社所在地：東京都千代田区、代表取締役：北川 烈、以下「当社」）は、当社が提供するクラウド型車両管理システム「SmartDrive Fleet」をはじめとするサービス導入企業数が、2025 年 6 月末時点で 2,000 社を突破しましたのでお知らせします。

2022 年の道路交通法改正による白ナンバー車両のアルコールチェックの義務化や安全運転への関心の高まり、2024 年問題と呼ばれる働き方改革などによる法令遵守推進の機運とともに、日々の車両関連業務の効率化や見える化を実現できるサービスとして、多種多様な業種業態・大小様々な規模のお客様にご利用をいただいています。

当社からお客さまへの直接のサービス提供に加えて、パートナー様経由でのご提供、他社サービスに組み込まれる形での提供もあり、導入が順次拡大しています。



「SmartDrive Fleet」は、特に、スマートフォンとの連携によるアルコールチェック結果の自動記録・管理や、AI ドライブレコーダーによるドライバー識別機能で運転者それぞれの運転データ（運転スコア、速度超過、急操作の検知など）を把握する機能などが評価されており、これらの機能は、チェック漏れ防止、確認記録の効率的な保存・共有、適切な安全運転指導と事故の未然防止に貢献します。

さらに、外部連携の強化により、トランスロン社の富士通デジタコや ETC2.0 車載器等と組み合わせた一元的な動態管理が可能になり、白ナンバー・緑ナンバー問わず、社有車や協力会社車両を同一画面で管理できる環境を実現しました。

2025 年 6 月に提供を開始した車両に関する書類 DX を促進するクラウドサービス「SmartDrive Box」は、車両を“持つ”管理が手間なく安心安全に行うための『動産管理』サービスで、車両を“使う”際の『動態

管理』を行う「SmartDrive Fleet」と合わせ、当社の長期ビジョン「移動データだけでなくあらゆるデータを扱い自動車産業を変革する」を体現する取り組みとなっています。

2013年の創業以来「移動の進化を後押しする」をビジョンに掲げサービスの開発・提供してきた当社は、今後も、お客様のニーズやご要望にお応えするサービスの開発・提供に取り組んでまいります。

以上

【スマートドライブのサービス】

「経営者とドライバーが使いたい No. 1(※)」法人向け車両管理システム **SmartDrive Fleet**

<https://smartdrive.co.jp/fleet/>

車両に関する書類 DX を促進するクラウドサービス **SmartDrive Box**

<https://smartdrive.co.jp/fleet/lp/smartdrive-box/>

走行データの取得・蓄積・活用 **Mobility Data Platform**

<https://smartdrive.co.jp/mobility-data-platform/>

業界の垣根を超えたコミュニティー **Mobility Transformation**

<https://www.mobility-transformation.com/>

※日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要:2021年5月期_ブランドのイメージ調査

※「SmartDrive」、「SmartDrive Fleet」、「SmartDrive Cars」、「Mobility Data Platform」、「Mobility Transformation」、「Vector G」は、株式会社スマートドライブの商標または登録商標です。

■会社概要 **株式会社スマートドライブ**

会社名	: 株式会社スマートドライブ（東京証券取引所グロース市場：証券コード 5137）
設立	: 2013年10月
代表取締役	: 北川 烈
所在地	: 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-6 日比谷パークフロント 19 階
URL	: https://smartdrive.co.jp/

-本件に関する報道お問い合わせ窓口-

株式会社スマートドライブ マーケティングチーム 広報担当

Email:pr@smartdrive.co.jp TEL:070-3250-4163（佐藤）